

6月定例会の主な議題

■下田市森林環境整備基金条例制定■10月22日 天皇陛下即位奉祝記念事業開催

令和元年9月6日 下田市議会だより

	とめをNPO法人へ依頼する	下田市における現状につい	条例となっています。	養の場として使用されている
	20件程度の家屋情報の取りま	を改正するものです。	条例を一括して一部改正する	れる10月22日に皇室方のご静
	した空き家調査物件のうち、	れたことに伴い関連する条例	料など料金改定に関する18の	る「即位礼正殿の儀」が行わ
8600	主なものは平成28年に実施	員資格研修を実施できるとさ	有施設の使用料や下水道使用	下のご即位を国内外に宣明す
and a second	530万円	定都市の長も放課後児童支援	ものなど一部を除き、下田市	奉祝記念事業として、天皇陛
	■移住・交流居住推進事業	改正により平成31年度から指	るもので、子育てに関連する	補正予算では天皇陛下即位
実施するものです。	託が主なものです。	回、厚生労働省の基準省令の	改正に伴い料金等の改定をす	た。
出に伴い測量、不動産鑑定を	物内に残された不要品処分委	する義務がありましたが、今	消費税及び地方消費税の税率	例全てが原案可決となりまし
処土地所有者からの売却申し	れた旧町内の旧木村紙器の建	道府県知事が行う研修を修了	10月1日に予定されている	です。また、その他5つの条
蓮台寺にある吉田松陰寓寄	ミュニティ補助金と、寄贈さ	従前の条例では、支援員は都	例の制定について	る為の整備に関わる基金条例
210万2千円	に対する自治総合センターコ	援員の資格に関する改正で、	関係条例の整理に関する条	資源の適切な管理に反映させ
■芸術文化振興事業	加 増 野 区の祭典資機材購入	る条例のうち、放課後児童支	消費税の税率の改正に伴う	これからの森林づくりと森林
	345万9千円	設備・運営の基準を定めてい	■ 議第45号 消費税及び地方	合った森林整備を進めます。
* 上王主学 四百里木	■地域振興事業	放課後児童クラブに関する		分され、市町が地域の実情に
です。	す。	の制定について	条例関係	境譲与税」が国から市町に配
への配布を予定しているもの	公社に事業を委託するもので	条例の一部を改正する条例		が今年度に創設する「森林環
1万4千部を作製し、全家庭	業に係る予算で、下田市振興	運営に関する基準を定める	沢登英信	林整備の新たな財源として国
ハザードマップ作製業務費で	いる天皇陛下即位奉祝記念事	童健全育成事業の設備及び	進士濱美 大川敏雄	案されました。この条例は森
主なものは土砂災害・洪水	主なものは10月に予定して	■議第48号 下田市放課後児	委員 鈴木 孝 矢田部邦夫	環境整備促進基金条例」が提
1218万5千円	■秘書総務事務 65 万円	ました。	副委員長 渡邉照志	条例議案では「下田市森林
■防災対策総務事務	その次ノロー正に合い言語	は問題ないとの判断が示され	委 員 長 滝内久生	行われました。
本にいたちく二言は		ことや、事務・運用について		18件の市長提出議案の審議が
* 方災安全果	3	があり、対応せざるを得ない	常伯委員会	件、補正予算6件等合わせて
なものです。	一役会计甫臣予算	当局からは施設の設置条例		人事議案4件、条例議案6
の電算システム改修費用が主		た。	総务文教	ました。
児教育無償化に対応するため		される等の議論がなされまし		8日間を会期として開催され
子育て支援法改正に伴う幼	受講する方針が示されました。	の事務・運用の繁雑さが危惧		6月19日から6月26日までの
873万2千円	静岡県知事が実施する研修を	ないか、差額を徴収する場合	う費用が組み込まれました。	月の改選後初めての定例会で
■電算処理総務事務	支援員については従前どおり	る施設に係る改定は不要では	等を下田市民文化会館にて行	下田市議会6月定例会は4
* 総 彩 部	なされ、当局からは下田市の	れていない施設や休止してい	で、即位奉祝記念事業、式典	
診务	応の変更の有無などの議論が	少年海の家」など現状利用さ	て、祝賀行事を実施するもの	6月定例会総括
ものです。	てと今回の改正に伴う研修対	「老人憩の家」や田牛の「青	須崎御用邸のある下田市とし	

-2 -

令和元年9月6日 下田市議会だより

	■義第17号 下田市介護呆険	ていますが、その維寺管理こ		ちました。これまで実祭こ義
	$\overline{\mathbf{u}}$	C	*環境対策課	員として活動してきた感想は、
	の制定について	衎	■ごみ収集事務	政界人にかぎらず多くの方と
常任委員会	国の定める介護保険法関係	円のほか、法令に基づく建物	488万6千円	お会いする機会が非常に増え
	の政令改正に伴い、下田市に	等の定期点検等にかかる費用	1号焼却炉故障に伴う市外	たということであります。黒
委 員 長 進士為雄	おいても令和元年10月に予定	です。	への搬出に対するごみ処理手	船祭などのイベント、萩市や
副委員長 江田邦明	されている消費税率引き上げ	森林整備促進基金について	数料が448万5千円、可燃	沼田市などの姉妹都市交流、
委員 中村 敦 佐々木清和	に対して低所得者の保険料を	は、整備促進の実施計画等、	ごみ収集業務委託38万1千円	賀茂地区を中心とする議員交
小泉孝敬 橋本智洋	軽減するため、減額賦課した	あずさ山の家は今後の利用に	は消費税増額分を補正するも	流、財界人を交えた勉強会な
	保険料分を公費で賄おうとす	ついての議論がなされました	のです。	どといった具合で、これまで
条例関係	るものです。	が、今後の検討課題として残	■焼却場管理事務	156名の方々と名刺交換を
	■議第49号 下田市水道使用	りました。	1778万5千円	いたしました。
■議第4号 下田市森林環境	条例の一部を改正する条例	ド見と之気果	1号焼却炉故障により、7	議員になってからは、市民
整備促進基金条例の制定に	の制定について	著館とうなが言い	~8月は2号焼却炉を24時間	の皆様から社会資本の整備や
ついて	10月1日に予定されている	■世界一の海づくり事業	運転とするため、時間外手当	条例の改正、改善を希望する
森林資源の適切な管理に要	消費税及び地方消費税の税率	30万円	31万7千円、ごみクレーン運	現地の確認等の要望も数多く
する経費の財源とするもので、	改正に伴い、水道事業で扱う	8月31日に外浦海岸で開催	転管理業務委託496万8千	いただくようになりました。
その原資は国の森林環境税か	料金等の改正をするものです。	された全日本ジュニア・ユー	円、ごみクレーン点検整備等	議員一人の力で何ができるか、
ら配分される森林環境譲与税		ス・マスターズライフセービ	の修繕費1250万円を増額	議員の皆様のほかに各方面で
をもって充てるものです。		ング選手権大会の運営に対す	補正するものです。	ご活躍されております諸先輩
その額は今後増加し、年2	一役会計甫王予算	る補助金です。		の方々にもご教授をいただき
000万円(本年度試算額5		★ 建 殳 果		ながら、市政のしくみとその
80万円)程度を想定してい	* 雀雀辰祖 果	交 言	──新議員	改善方法について勉強してい
ます。	当 利 打	■道路維持事業1750万円	6月定例会を	るところであります。また、
■議第46号 下田市国民健康	■森林環境整備促進基金	国からの交付額の決定に伴	終えて	新人議員ながら産業厚生委員
保険税条例の一部を改正す	200万1千円	い不足している修繕料に25		会副委員長、議会運営委員、
る条例の制定について	国から配分される森林環境	0万円を、道路構造物点検業		議会だより編集委員等の重責
地方税法施行令等の一部改	譲与税の200万1千円を積	務に1500万円を増額補正	ß	を仰せつかりましたので、若
正に伴い、下田市においても	み立てるものです。	するものです。道路構造物点	ジョージョンションションションションションションションションションションションションショ	い者なりの行動力と継続力で
国保税を所得に応じて均等割	■あずさ山の家管理運営事業	検業務については、トンネル		その職責を全うしていく所存
及び平等割を一定の割合に軽	178万円	及び橋梁の全てを5年サイク	6月定例会を終え、議員と	であります。
減するよう改正するものです。	施設は本年度から閉鎖され	ルで点検するものです。	しての活動も約2ケ月間がた	6月定例会では、自分自身

ました。 名の方々と名刺交換を 区を中心とする議員交 貝を全うしていく所存 法について勉強してい りの行動力と継続力で 6り編集委員等の重責 **貝長、議会運営委員、** 貝ながら産業厚生委員 盲様のほかに各方面で 唯認等の要望も数多く 以正、改善を希望する から社会資本の整備や 介人を交えた勉強会な ムどの姉妹都市交流、 うことであります。 黒 9る機会が非常に増え っであります。また、 にもご教授をいただき これております諸先輩 、の力で何ができるか、 、ようになりました。 になってからは、市民 このイベント、萩市や にかぎらず多くの方と '活動してきた感想は、 かりましたので、若 た具合で、これまで 市政のしくみとその

――― 令和元年9月6日 下田市議会だより ―――

<b>  百~の   山と理角を浮めて</b>	箸 全て や ま を 得 た し と 話 & 請	第日 主 言 書 を 何 刊 で そ こ と と と
う女へつ見いこ里牟ら民りこ	美しいとこうとうとうとうと	明ら三三歳 言本見中, マニニニ
り会議録を読んでみたりして、	分を転嫁するもので、委員会	の6月でしたが、まさに議会
されますので、ぜひ傍聴した	かる燃料費や印刷費等の課税	私にとって初の定例会がこ
録も9月定例会までには反映	事業者ではありませんが、掛	
出来ます。6月定例会の会議	ます。市は消費税の課税対象	
開しており、全て読むことが	は一袋につき1~2円上がり	中村政
ジでは議会の「会議録」を公	れ、ゴミ袋に含まれる手数料	
聴できますし、市のホームペー	設利用料が改定(値上げ)さ	
議会は誰でも予約無しで傍	た公民館やグラウンド等の施	取り組んでまいります。
続協議してまいります。	料の軽減が実施されます。ま	祉や教育の分野にも積極的に
ですが、今後も関係部署と継	健康保険税の軽減と介護保険	た観光や防災の分野の他、福
求出来なかったことが反省点	は、増税分を還元すべく国民	今まで直接かかわってきまし
もあり曖昧な答弁に対して追	した。生活に影響する部分で	は最年少議員となりますので、
が出来ますが、不慣れなせい	費増税に伴う条例改正が主で	と考えております。今議会で
当局の答弁に対して再質問	6月定例会では、来たる消	動の理解を深めてまいりたい
の姿勢を正すよう求めました。	しました。	しまして、議会および議員活
大浜の健全化についても当局	かにしてはいけないと再認識	上回るよう、市民の皆様に対
民間事業への積極支援と白浜	そが民主主義であり決して疎	率が今回の投票率61・18%を
有効利用を求めました。また	なことも多いですが、それこ	市議会議員選挙における投票
ふまえてまどが浜海遊公園の	で、議会では儀式的・形式的	といたしまして、次回の下田
して、県のアンケート結果も	同様の手続きが必要となるの	す。特に、その数値的な目標
得戦略を問うものです。関連	条例の一文を改正するにも	会の実現を目指してまいりま
題が多い中で、リピーター獲	を決定)します。	からの負託に応える協働型議
ク・パラリンピック等明るい話	員が議会で審議し議決(可否	せることにより、市民の皆様
キャンペーン、東京オリンピッ	に対し、市民の代表である議	民参加を図る機能」を向上さ
静岡デスティネーション	以下当局から提出される議案	番重要な「議会へ積極的な市
認し、意見を述べました。	会」となります。多くは市長	言・立案する機能」、そして一
点について、当局の方針を確	改廃を議論議決する場が「議	チェックする機能」、「政策を提
浜地区の生活道路保全」の2	により行われ、条例の制定・	役割であります「市政を監視・
獲得型の観光振興策」と「白	いう地方公共団体独自の「法」	せていただきました。議会の
一般質問では「リピーター	市の運営は全て「条例」と	の政策に基づき一般質問をさ

のサポートを頂けたことが大	えて頂き、議会事務局の方々	先輩議員の皆様に色々と教	えてきました。	え市議会の流れが何となく見	5月臨時会、6月定例会を終	ての議員生活をスタートし、	下田市議会議員1年生とし	() () () () () () () () () () () () () (			アフレオ
きな力となりました。 市のために必死で仕事をして いる姿も印象に残りました。 小子高齢化の時代にあり人 中での市政運営において、活 中での市政運営において、活 たけでなく日本の地方にあり人 いても共通の問題であります。 どんな問題も必ず解決でき どんな問題も必ず解決でき	思っては、 思っては、 ために して ために した の 市 た た や に お に い の 市 た や に れ し の 市 か や に 心 の 市 か や に 心 の 市 か か や に 心 じ め に 心 じ め に い じ め に 心 じ め に い し の 市 か か か た を は じ の 市 前 部 か の 市 前 む い の 時 の た の に 心 じ め に の じ の 市 か か か た の に い じ め に の じ の 市 か か か た の に の じ め に の じ め に の じ の 市 む に の に の じ め に の じ の 市 の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の た の に の に の た の に れ の に の た の に ち に う た の に れ っ の に ち に う た の に れ の に ち こ の た の に ち に う た の に ち こ の た の に ち に う た の た た た ろ た の た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た っ た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の	思っては、 問題、 してな の市 に 前題、 が た を な り ま し た た た た た た た た た た た た た	思っては 思っては します。 こでな の 市 超 も に た を な に し た の た た た た た た た た た た た た た	思って 思って 間 辺 ま む に た の の 市 に 前 題 、 の 市 に 前 御 の 市 に た の た の た た た た の に し た の た の た の た の た の に し の に し の た の に の に の 市 前 他 い の の 市 む に い の 市 む に い ち で 近 の 市 前 他 の の 市 む に い ち た の た の に い ち た の た の た の に い ち に い ち た の た の た の に い ち に い ち た の た の た の た の た の た の に い ち に い ち た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の で い た の た の た の で し た た の た の の た の た の た の た の の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の の た の た の の た の の た の た の の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の の の た の た の の の た た ろ の の た の た ろ の の た ろ の の た ろ の の た ろ の の た ろ の の た ろ の た ろ の の の た ろ の の の の の た ろ の の の の た ろ の の の の の の の の の の の の の	思っては、 問題も 、 で な の 市 拍 に ま 会 の 市 拍 前 し た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の 市 拍 前 数 の 市 泊 市 前 か い の 市 泊 市 前 の 市 前 む い の 市 前 部 数 の 市 前 む い の 市 前 む い の 市 前 む に じ め 市 前 む い の 市 前 む い の 市 前 む い の 市 前 む い の 市 前 む い の 市 前 む い の 市 前 む い の 市 前 む い た の で い う の 市 前 む い た の 市 前 む い た の 市 む い た の 市 前 む い た の 市 む い た の 市 む い た の 市 む い た の 市 の 市 い た の 市 む い た の 市 れ の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の た の 市 で い た の 市 で い た の 市 で い た の で 、 れ が の 市 の た の で れ が の 市 の た の で れ が の 市 の 市 の 市 の 市 の っ た っ の っ れ が の 一 の 一 の っ の 市 の 一 た っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の っ の の の の	思って 思って します。 こ で の 少 に お に た の た た た た た た た た た た た た た	思っては、 問 口 じ 対 の 市 拍 載 し た の た の た れ し た れ し た の た れ し た れ し た れ に じ 数 市 前 載 し た の 市 拍 部 能 長 会 、 ら れ し た の 市 拍 部 能 長 会 、 ら れ し た の 市 拍 部 部 の に じ め に じ め に じ の 市 前 れ か た の た の れ た の た の れ た の た の れ た の た の た の れ た の た の れ た の た の れ れ た の た の た の れ た の た の た の れ た の た の れ た の た の た の れ た の た の た の れ た の た の た の れ た の た の た の た の た の れ た の の た の た の た の の の の た の た ろ の の の の た の の の た の た ろ の の の の た の の の た の の の た の の の の の の の の の の の の の	思んちけ、問口じ対の少子姿を長力ポ頂輩き議臨議田市 したいでで、「「」」であった。 したいでで、「」」では、「」」で、「」」で、「」」で、「」」で、「」」で、「」」で、「	思んもけ、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 って問減す。なりに、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、	思んもけ、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 って題減す。などでをしたなりに、 の少子姿た長力ポート。 話話ののに 意志ののに でででで、 のたい に したした。 のたい に た た た た た た た た た た た た た た た た た た	思んもけ、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議 臨議田 って題減すのに高部のをとした流 6 年 したで変で、本運車化象必じり度会皆。 が月本産がの時残で市した務に す。 13 解め地間備低 変いっにま事員 ないたいた ないた ないた たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい た
A の市政には、 本 の 市政には、 本 当 に かいで、 本 当 に かいで、 本 当 に かいで、 本 当 に かいで、 本 当 に お 部 都 の 時 代 で、 本 当 に お かいで、 本 当 に お い で、 本 3 解 の 時 代 に ま 事 の 市 政 正 前 の 時 代 に ま 事 の 市 政 正 前 の 時 代 に ま 事 の 市 政 正 都 の 時 代 に ま 事 の 地 間 二 の 時 代 に ま 事 の 知 の 世 の に ま 事 の 知 の 世 の に ま 事 の 知 の 世 の 知 の に ま 事 の 知 の 世 の 知 の 世 の 世 の 世 の 世 の 世 の 世 の 世	<br< td=""><td>A んも、 一、 一、</td><td>は、、市政部ででで、 は、、市政部では、 は、、市政部での、 」、 <!--</td--><td>は、、問口じ対の少子姿た長力ポートで、 した、の少に、 した、 した、 した、 した、 した、 した、 した、 した</td><td>A んも式の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</td><td>A、も、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、</td><td>A んも式の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</td><td>は、、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田市は、問口じ対の少子姿た長力ポート。     は、、に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</td><td>はんもけ、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議時員市 したで交通減す。 な、問題、少、高田のには、「「」」の「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」で、「」」で</td><td>は、 、 問 口 じ 対 の 少 子 姿 た 長 力 ポ 頂 輩 き 議 臨 議 田 か 前 前 印 に 高 む な を き ま 会 時 員 市 ま ひ 市 泊 か に む な を ま 会 の 会 生 話 い 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一</td><td>はんもけ、問ロじ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 の少で変になるたちに、 したででで、 したでで、 したでで、 したでで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたい、 にの、 にたい、 にの、 に、 に、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、</td></td></br<>	A んも、 一、	は、、市政部ででで、 は、、市政部では、 は、、市政部での、 」、 </td <td>は、、問口じ対の少子姿た長力ポートで、 した、の少に、 した、 した、 した、 した、 した、 した、 した、 した</td> <td>A んも式の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</td> <td>A、も、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、</td> <td>A んも式の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</td> <td>は、、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田市は、問口じ対の少子姿た長力ポート。     は、、に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</td> <td>はんもけ、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議時員市 したで交通減す。 な、問題、少、高田のには、「「」」の「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」で、「」」で</td> <td>は、 、 問 口 じ 対 の 少 子 姿 た 長 力 ポ 頂 輩 き 議 臨 議 田 か 前 前 印 に 高 む な を き ま 会 時 員 市 ま ひ 市 泊 か に む な を ま 会 の 会 生 話 い 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一</td> <td>はんもけ、問ロじ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 の少で変になるたちに、 したででで、 したでで、 したでで、 したでで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたい、 にの、 にたい、 にの、 に、 に、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、</td>	は、、問口じ対の少子姿た長力ポートで、 した、の少に、 した、 した、 した、 した、 した、 した、 した、 した	A んも式の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	A、も、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、市、	A んも式の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	は、、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田市は、問口じ対の少子姿た長力ポート。     は、、に、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	はんもけ、問口じ対の少子姿た長力ポ頂輩き議時員市 したで交通減す。 な、問題、少、高田のには、「「」」の「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」で、「」」で	は、 、 問 口 じ 対 の 少 子 姿 た 長 力 ポ 頂 輩 き 議 臨 議 田 か 前 前 印 に 高 む な を き ま 会 時 員 市 ま ひ 市 泊 か に む な を ま 会 の 会 生 話 い 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	はんもけ、問ロじ対の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 の少子姿た長力ポ頂輩き議臨議田 の少で変になるたちに、 したででで、 したでで、 したでで、 したでで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたいで、 にたい、 にの、 にたい、 にの、 に、 に、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、
しな問題も公式解決 の市政運営においって 子高齢化の時代にあ の市政運営においって 子高齢化の時代にあ の市政運営においって でなく日本の時代にあ します。 ために必死で仕事を の市職員がかかって をめに必死で仕事を します。 ためにおいって ためにおいって をしました。	んな問題もとず解決 ために必要 でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でありました。 でなく日本の時代にあ でありました。 を でなく日本の時代にあ でありました。 を で た で た の 市 戦 で た の 市 の 時 代 に た の に た の に た の た の た の た の た の た の た	しな問題でありまた。 したの時代にあ したの時代にあ したの時代にあ したの時代にあ したの時代にあ したの時代にあ したの時代にあ したの時代にあ したの時代にあ したの したの したの したの したの したの したの したの	んな問題もとず解決 でなく日本の問題 をしたの に た の 市 政 運 営 に お の 市 政 運 営 に お の 市 政 運 営 に や に 治 部 の に 府 部 の に の 市 の 市 の に の 市 の に の 市 の に の に の の 市 の に の の の の	んな問題でありました。 してなく日本の問題でありました。 したのに、 でなく日本の時代の時代の でなく日本の時代の でなく日本の時代の でなく日本の時代の でなく日本の時代の でないたで でないたで でありました。 での でないたで でありました。 での での での での での での での での での での	んな問題もながの ために した。 で ために が た た た た た た た た た た た た た た た た た た	んな問題でありた。 したのでは、 の 市政運営においた。 ために した。 で な の 市政運営が か た の に た の に た の に た の に れ が 何 と な り ま し た 。 、 れ し た の に れ が 何 に の の に の に の の に の に の の の に の の の に の の の に の の の の に の の に の の の に の の の の に の の の の に の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の 、 の に の の の の の に の の の 、 の に の の の に の の の の っ の に の っ の に の っ の に の っ の つ っ の っ の つ っ の つ っ の つ っ の つ っ の つ つ っ の つ つ っ の つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	んな問題でありた。 したので、 します。 したので、 したのでの、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したのでの、 したので、 したのでの、 したのでのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでのでので、 したのでので、 したのでのでので、 したのでのでので、 したのでのでので、 したのでのでので、 したのでのでので、 したのでのでのでので、 したのでのでのでので、 したのでのでのでのでのでので、 したのでのでのでのでのでのでのでので、 したのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	んな問題であり、 にの した した した した した した した の で に に に した の に に に し た の に に し た の に に に し た の に に し た の に の に に の た の に の に の た の に の に の た の に の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の た の に の の の に の た の に の た の に の た の に の た の に の の に の た の の に の た の の に の に の た の っ の に の た の っ の に の っ の に の た の っ の に の っ の に の っ の っ の っ の っ の っ の の の の の の の 一 の の の の の の の の	んちは、 しました。 したのでは、 したのでは、 したのでは、 したのでは、 したのでは、 したのでは、 したのでは、 したのでは、 したのでの。 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したので、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでの、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したののでので、 したのでので、 したののでので、 したのでので、 したののでので、 したののでのでので、 したののでのでので、 したののでのでので、 したののでのでので、 したののでのでので、 したののでののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	んもけ、 対の 少子 姿た 長力 ポ 頂 輩 臨 議 田 市 道 か 市 治 を と な 会 ま 会 時 員 市 議 の 少 子 姿 も に か き 会 の 会 ま 会 時 員 市 議 の 少 に 市 治 印 む に む り ま し た 流 れ 6 ス 4 年 の で な う む に む り ま し た 。 の 市 超 が 時 取 必 じ ま し た 。 の 市 超 が 時 氏 ひ ま し た 。 の 市 超 た か 代 に ま み に た た 務 に 日 本 の 時 題 本 変 の 時 代 い ま し た 。 が 何 定 夕 - 年 の た か れ に た た 務 に ら ス 4 年 の 世 都 低 変 て て あ し を が の ち か た こ の 々 本	んもけ、 対の 少子 姿た長力ポ 頂 輩 臨 議田市 、問 口じ対の に 高 む た を き 会 時 員 市 、問 減 す な 市 節 印 に む ち ん ち き 会の 会 に お 部 印 に む ち を は し 流 6 を 会 の に む か に む ち 正 ひ た た 務 長 1 年 、 の に お か 代 む ま し た が 何 定 夕 1 年 の か に む か 代 む 事 に た た 務 に と り 年 本 が の 問 間 低 変 て て あ し を が 会 ト 生
も共通の問題でありたとなりました。 そ高齢化の時代にあ で加える、産業の低迷 でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ でなく日本の地方	も共通の問題であり+ ために必要で仕事を でなく日本の地方 でなく日本の低迷 にたむにたいて に ために がかかって ために と な り ま し た の 市 政 運 営 に や に 拍 車 が か かっ た の に 代 の 時 代 に や に や の 時 の に の 時 代 の 時 代 の 時 代 の に の の 市 の で 代 の 時 の の の の の の の の の の の の の の の の の	も共通の問題でありたとないの時間でありたので、そのでは、ために必死で仕事がかっていたのでは、ために必死で仕事がかって、その市政運営において、ためにとの時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の	も共通の問題であり <del>た</del> その に た め に が か た る に や に 拍 事 が か か た を は じ め に 必 の 市 政 運 営 の 市 政 運 営 の 市 の 時 代 の に の の 市 の に の の の 市 の の 市 の の の の の の	も共通の問題であり ために ために がかかって ために がかかって ために ために が が ため に が が た が に た が に が の 市 政 運 ぎ の 告 に い の に の 告 に の ち に の ち の に の ち の た の に の ち の ち の た の ち の ち の に の ち の の の の の た の に の の の の の の の の の の の の	も共通の問題であり ためにという。 となりました。 でなく日本の時代において でなく日本の時代において でなく日本の時代において でなく日本の時代にあ でなく日本の時代にあ した。 を た で な で な で な の 市 成 世 志 の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に の 市 む に た の で む に む の 市 む た の 市 む で む た の 市 む の 市 む た の 市 む た の た の に た の た の に た の た の た の た の た の た の た の た の た の で た の た の た の た の で し た こ し た の で の 市 歌 に の ち の 市 で し た こ し た の で の ち の ち の に た の で の ち の ち の ち の ち の た の で の ち し た こ し た の で の ち の ち の ち の た の で の し た の の の し た の で の ち の ち の の ち の ち の の し た の の の し た の の の し た の の の し た の の の し た の の し た の の し た の の の し た の の し た の の し た の の し た の の し た の の し た の の し た の た の し た の つ て の ち の し た の た の た の た の つ た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の の の た の た の の の の の の の の の の の の の	も共通の問題であり去 した。 を した。 で な く 日 本 本 の 市 政 正 吉 志 に た の た の 市 政 正 吉 に れ が の た の た の に れ が の た の に れ が の 市 む に し た の で れ が の に む に む い た の に む い た の に の に む の 市 む た の に む い た の に の た の で れ が の に の た の で れ が の た の で れ が の た の で れ が の た の で れ が の た の で れ が の た の で れ が の た の で れ が の た の の の た の た の の た の た の の た の た の の の の た の た の の の の の の の の の の た の の の の の の の の の の の の の	も 共通の問題であり た の 市 前 題 、 定 定 に た の 市 れ に た の に た の に れ が に た の に れ が の た の に れ が の た の に れ が の た の に の に の 市 前 部 金 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の た の に の た の の の に た の た の た の の の に た の た の の の に た の の の に た の た の の の に た の の の の に た の の の に し た の の の の し た の の の の し た の の の の し た の の の の の の し た の の の の の の し た の の の の の の の し た の の の の の し た の の の の の の し た の の の の の の し た の の の の し た の の の の し た の の の の し た の の の の し た の の の の の の の の の の の の の	も共通の問題であり」 な の 地 に お に お に お に た の に れ 本 当 に た の に れ 市 れ 事 が の に れ 事 が の た の に れ 事 が の に れ 事 が の た の に の た の で の に の た の に の た の で れ の に の た の た の で れ の に の た の の の の し た の の の の の の の の の の の の の	もけでなる、 は で あ し ま し た た し た し た れ に し た し た し た し た し た し た し た し た の に に ま し た の た の た の た の に に ま し た の の の に わ た の た の た の た の た の の の た の た の の の の の た の た の の の の の た の た の の の の の の の の の の の の の	もけて、間口で対の少子姿を長力ポ頂輩ま会に、間口で対の少子姿を長力ポート。 したしたので、 したのでの時代でので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのでので、 したのので、 したののでので、 したのでので、 したののでので、 したののでので、 したのでので、 したののでので、 したののでので、 したののでので、 したののでので、 したののでので、 したののでので、 したののでのでので、 したののでので、 したののでのので、 したののでのでので、 したののでのでのので、 したののでののでので、 したののでののでのでので、 したののでのでののでのでので、 したののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	<ul> <li>もけ、間口じ対の少子姿た長力ポ頂輩詰田</li> <li>一、一、「「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」</li></ul>
けでなく日本の地方 、交通弱者等の問題、森林の整備や におす。 で通報者等の低迷	けでなく日本の地方 、交通弱者等の問題、森林の整備や でなく日本の低迷	けでなく日本の地方 の市政運営においって かった前年がかかって の市政運営においた。 となりました。 の市政運営においた。 で通弱者等の時代にあ します。 を がかかって ためにおいて ためにおいた。 を で た の 市職員が た の 市職員が た の 市職員が た の 市職員が た の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の	けでなく日本の 地方 でなく日本の 整業の低迷 が た の 市 設 に お い た の 市 政 正 常 に の 市 政 正 常 に の 市 の 市 政 正 常 に の ち の に の 市 の た こ と の た の の の の 市 の 市 で し た る の の の の 市 の た の た の た の た の た の た の た の た の で か か っ て た の の た の た の の た の つ て か の つ て の の 一 の の 一 の の の の の 一 の つ て の の 一 の つ て の 一 の つ て の の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の の の の の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の つ て の の つ つ つ つ つ つ つ の つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	けでなく日本の します。 ために どの 市政 準 着 員 の た が か か っ た れ し た の に れ し た の に れ し た の に れ し た の に れ し た の に れ し た の に の じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に 心 じ め に む じ む し た た 。 で 仕 し た た の に の に の に の に の に た の に た の に た の に の た の に た の に の に の た の に の た の に の た の た の に た の た の に た の た の た の た の た の に た の た た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た た た の た の た つ た の た つ た つ た つ た た つ た た た の た の た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ て つ の の の の の の の つ の の の の の の つ つ て つ の つ の の の の つ の つ の つ の の の の の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ つ の の つ つ の つ の つ の つ つ つ つ つ の つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	けでなく日本の地方 でなく日本の時代にあって します。 で 道 職 の 市 政 運 営 に お り た の 市 政 運 営 に お り た の 市 政 運 営 に 、 務 に の 市 の 時 代 の 市 の に の 市 の に の の 市 の に の の の 市 の に の の の の	けでなく日本の 地 す。 た を な に お い か が 何 た の た の に れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 た の た た た の た た の た こ た の た こ た の た こ た の た こ た こ た の た た の た た た た つ た た の た た た た た た た た た た た た た	けでなく日本の 地方 の 市 に お や に お や に お に た の た の 市 む に た の 市 む に し た の 市 む に し た の 市 む に し た の 流 れ が 何 た の た の 市 む に じ め に い が の 市 む に で む り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の 流 れ が 何 と な り ま し た の の の や 代 に た の た の た の の た の た の た の の た の た の の の や 代 に た の た の の の や 代 に た の の の の で 代 に た の の の の た の た の の の で 代 の 一 た の の の の の の で の の の の の の の の の の の の の	けでなく日本の します。 本本の た の 市 に お に お に お に た の の の の 市 代 に む り た た こ の の の 明 け た た こ の の の 明 世 に た の た の の の の 明 で 代 に し た の の の の 低 い や の ち の た の の の の の の の 低 、 か の の の の の の の の の の の の の	けでなす。 市 泊 志 学 で 本 市 市 泊 市 前 市 市 泊 市 前 市 泊 市 前 の に 市 前 市 泊 市 命 の に 市 前 市 市 的 に じ り ま し た の 流 れ 6 月 2 月 1 年 本 本 の 市 市 市 市 の に む り ま し た の 流 れ 6 月 2 月 1 年 本 の の 市 市 市 市 市 市 の の 市 市 市 市 市 市 の の に じ り ま し た の 流 れ の 市 に に じ り ま し た の 流 れ の 市 に に じ り ま し た の 流 れ の 市 に に じ り ま し た の 売 れ が の 市 に に む り ま し た の 売 れ が 何 に の の 市 で 市 市 の で で 市 む に じ り ま し た た の れ の 何 に と り ま に た た ろ 月 1 年 生 本 の の で で 市 で い で 市 で 市 で い 市 の で に し た た ろ 局 色 々 り 下 一 で 一 い の で に た ろ の の で に た ろ の の で に た ろ の の で に た ろ の の で の の で の の の で の の で の つ で の の の の の の の の の の の の の	け、 同口じ対の 少子姿を長た たをなり たたの に 、 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	け、問口じ対の少子姿を長力ポ頂輩 3 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
、交通弱者等の問題は、 で通弱者等の問題は、 で通転した。 の市政運営において、 が策は本当に大変なこ が策は本当に大変なこ で仕事をし ために必死で仕事をし ために必死で仕事をし で にありました。	、 交通弱者等の問題は で は で は 本 林の 整 備 や に お い て た あ に 必 た の 市 政 運 営 に お い の 市 の 時 代 に あ り ま し た 。 に 、 の 市 の 市 成 り ま し た 。 に み に の 時 代 に あ い の 市 の 市 の 時 代 に あ い の 市 の 市 の 時 代 に あ い の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の 市 の に の 時 代 に あ り ま し た 。 で 仕 事 参 に あ い か か っ っ て 、 い ち の た の た こ と な り ま し た 。 に あ い の っ て 、 い ち し た こ た の っ て い し た こ た こ た い っ て 、 い う ま し た こ た こ た い つ て い う こ た こ た こ た い つ て い い た こ た の に あ り ま し た こ た の う て 、 い て 、 い て 、 い つ て い て 、 い つ て い て 、 い う っ て い つ て い つ て い て 、 い て 、 い て 、 の つ て い て 、 い つ て い て 、 い つ て い て 、 つ て い て 、 い つ て い つ て い つ て い つ て い つ て い つ て い つ て い て 、 つ て い つ て 、 つ て い つ て 、 つ て つ て い つ て 、 つ て つ て つ て い つ て い つ て つ て つ つ て い つ て つ つ て つ に つ て つ つ つ つ て つ つ て つ つ て つ つ て つ つ つ て つ つ て つ つ つ て つ つ つ つ つ つ つ つ こ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	、 で通 弱者等の問題は 、 で 通 弱者等の問題は 、 で 通 弱者等の問題 に お い で 仕 事 を し た の 市 政 運 営 に お い っ て い か 定 治 師 化 の 時 代 に あ り ま し た の 市 政 運 営 に お い っ て い か か っ て い か か っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 営 に お い っ て い の 市 政 運 が か っ で い の 市 政 運 が い っ て い	、 で 通 弱 者 等 の 問 題 、 森 林 の 要 備 に を の に な り ま し た の に な り ま し た の 市 政 運 営 に お い っ て い す 、 な れ の 時 代 に あ り の 市 し た こ と が の 市 戦 員 が に た の た の	、 で通報者等の問題は、 この時代にありたい。 この市政運営においたの時代にありました。 この市政運営においたの時代にありました。 からに、 たちに、 たちに、 たちに、 たちに、 たちに、 たちに、 たちに、 たち	、 で通報者等の問題は、 この 市政 運営においた。 ことの 市政 運営においた。 かって 自憲、 森林の 時代にあり ました。 が 前題、 森林の 時代にあり ました。 が 市政 運営において い かって い かかって い かかって い かかか かかって い かか かかって い かか に た 変 な に かか かかって い い す に おい て 、 な な に た の 市 政 運営 に おい た こ と が が かかって い い す に おい て 、 い す に おい て い い か かか かかって い い す に おい て い か かか かか か か か か か か か か か か か か か	、で通常な、6月定例会で仕事務の問題である。 「ために必ずで仕事務局のでは、6月定例会では、6月定例会では、1000000000000000000000000000000000000	、 で す い な こ あ に お い か っ て ふ た の 時 代 い か っ た の 市 政 連 常 美 員 の 市 武 連 常 長 を は じ め 市 政 連 常 が か か む ま し た 。 が 何 と な り ま し た 。 が 何 と な り ま し た 。 が 何 と な り ま し た 。 が 何 と な 的 市 政 連 ず が か か む ま し た 。 が 何 と な 的 市 政 連 が か か む 市 む 中 化 の 時 代 に め 市 敬 に か か で 仕 晴 し た 。 か っ て む か か っ て あ し か い か っ て あ し か い か っ て あ し か い か っ て あ し か か っ て あ し か か っ て あ し か か っ て あ し か か か っ て あ い か っ て あ い か か っ て あ い か か っ て あ い か か っ て あ い か か っ て あ い か か っ て あ い で か い か っ て あ い か か っ て あ い か か か か っ て あ い か か っ て あ い か か か か っ て あ い で か か か っ て あ い か っ て あ い で か か か っ て あ い で か か か っ て あ い か っ て あ い で か か か っ て あ い で か か か っ て あ い か か っ て あ い か か っ て あ い か か っ か か っ て あ い か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か か っ か か っ か か っ か か っ か か か っ か か っ か か っ か か っ か か か っ か か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か っ か か か っ か か っ か か っ か か っ か か か っ か か っ か か っ か か っ か か か っ か か っ か か か っ か か か か か っ か か か っ か か っ か か か か か っ か	、 市本 の 学 高 離 し 市 議 員 生 活 を スタート を 間 む 離 員 生 活 を スタート を 頂 む 市 由 市 譲 員 生 活 を スタート を 頂 け た の 市 白 神 御 郎 の 中 に 拍 郎 印 む む む む む む む む む む む む む む む む む む	、でした、 、で、 、で、 、で、 、で、 、で、 、で、 、で、 、	、問口じ対の少子姿た長力ポ 頂輩 臨 議田市 、 一方の方式 したい 、 一方の方式 したい 、 一方の方式 したい 、 一方の方式 したい 、 一方の 、 一方の方式 したい 、 一方の 、 一の 、 一の 、 一の 、 一のの 、 一の 、 一のの 、 一の 、 一の 、 一の 、 一のの 、 一の 、 一のの 、 一の 、 一のの 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、 同口じ対の 少子姿た長力ポ 頂輩 臨 議田市 議田市 該田市 該日市 該日市 該日市 該日市 該日市 該日市 該日市 該日
の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備や鳥が下な力となりました。	の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備や鳥がいたことが	の問題、森林の整備や鳥がの問題、森林の整備や鳥がの問題、森林の整備や鳥がかってい	の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備や息が	の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備や息がかっていい	の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備や鳥の問題、森林の整備やしたことが	の問題、森林の整備や での市政運営においって をなりました。 のために必死で仕事務局の をめに必死で仕事務局の での市政運営においた。 を した。 を なりました。 を なりました。 を なりました。 を なりました。 を なりました。 を な りました。 を な りました。 を な の た め に が か の た め に が の た の た の た の た の た の た の た の た の た の	の問題、森林の整備や の問題、森林の整備や な力となりました。 のために必死で仕事務局の をした。 のために必死で仕事務局の をした。 のために必死で仕事務局の をした。 をはじめ市職員が たこと のたの市政運営においって のためにおいた。 を での市政運営においって します。 を なりました。 の たの に な の た の た の た の た の た の た の た の た の た の	の問題、森林の整備や 水の整備や 水の た の に お の た の の の で 他 し た の の た の の の た の の の の の の の の の た の た の の の の の の の の の の の の の	の問題、森林の時代にあした。 整備や がの低迷 かって を な の た の の の の の の た の た の た の た の た の の の の の の の の の の の の の	の問題、森林の時代にました。 本 がの時代にあした。 本 がの た での た の の の の の た の か つ て の か つ て の の の の の の の の の の の の の	の問題、などの時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の時代の
人口減少、産業の低迷、 して減少、産業の低迷、 して減少、産業の低迷、	人口減少、産業の低迷、 のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。 での市政運営において、 での市政運営において、 での市政運営において、 での市政運営において、	人口減少、産業の低迷、 のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし での市政運営において、 での市政運営において、 がかかってい がかかってい のたいた。	人口減少、産業の低迷、	人口減少、産業の低迷、	人口減少、産業の低迷、	人口減少、産業の低迷 のために必死で仕事務局の での市政運営においって る姿も印象に残りました。 での市政運営においた。 をはじめ市職員が ががかって をした。 をはじめ市職員が での市政運営においって での市政運営において をした。 を での市政運営において での市政運営において での市政運営において での市政運営において での市政運営において	人口減少、産業の低迷 水 した の た た た の の た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た つ た た の た つ た た た た た た た の た つ た の た た た た た た た た た た た た た	人口減少、産業の低迷	人口減少、産業の低迷	人口減少、産業の代化の時代において、との時代においた。 金次の時代においた。 金次の時代においた。 金米の時代にあした。 金米の時代にあした。 金米の時代にあした。 金米の時代にあした。 金米の時代にあした。 金米の時代にあした。 金米の低迷	人で減少で、減少で、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
感じます。 感じます。	感じます。	での市政運営においってい のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし での市政運営において、 での市政運営において、	感じます。	での市政運営においってい での市政運営においってい での市政運営においってい での市政運営において、 での市政運営において、 がかかってい での市政運営において、	感じます。 感じます。	感じます。	感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 のために必死で仕事務局の に の市段をはじめ市職員が の市政運営においって の市政運営においって	感じます。 感じます。	感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 した。 のためにしめたのに、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市職員の に、 のたの市政運営にあいたの に、 のたのたのでの市職員の に、 のたのでの市職員の に、 のたのでの市職員の に、 のたのでの市職員の に、 のたのでの市職員の に、 のたのでの市職員の に、 のたのでの に、 のたのでの た。 のたのでの での市政運営においたの でのたのでの た。 のたのでの た。 のたので た。 のたので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	感じます。 感じます。 感じます。 感じます。 感じました。 な力となりました。 の市長をはじめ市議会議員1年生 の市長をはじめ市議会事務局の が何となりました。 の市長をはじめ市職員1年生 の市代にた。 な会も印代にた。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 な会した。 の市代にあした。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 なられが何とならま な会した。 な会した。 な会した。 なられが何とた。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 な会した。 なられかで な会した。 なる なる な会した。 な な な な な な な な な な な な な	<ul> <li>感じないで、</li> <li>感じないで、</li> <li>などの、</li> <li>などの、</li> <li>などの、</li> <li>などの、</li> <li>ため、</li> <li>たの、</li> <l< td=""></l<></ul>
化対策は本当に大変なこでの市政運営において、 減少に拍車がかかってい するいで仕事をし での市政運営において、	化対策は本当に大変なころの市政運営において、 での市政運営において、 での市政運営において、	化対策は本当に大変なこでの市政運営においた。 がかかっている姿も印象に残りました。 での市政運営において、 がかかっている。 での市政運営において、	化対策は本当に大変なころの方法での市政運営において、 での市政運営において、 がかかってい のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。 での市政運営において、	化対策は本当に大変なこでの市政運営においたことがでの市政運営においてした。での市政運営においたことがでした。	化対策は本当に大変なこでの市政運営においていた。 での市政運営において、 が が た む た を は じ め 市 長 を は じ め 市 長 を は じ め 市 長 を は じ め 市 長 で 仕 事 を し た の 告 術 に の ち の 告 術 に の ち の 告 術 に の ち の 告 の 告 の 告 の 告 の ち の ち の ち の ち の ち	化対策は本当に大変な での市政運営においって での市政運営においって をなりました。 のために必死で仕事務局の をめに必死で仕事務局の での市政運営においって	化対策は本当に大変な での市政運営においって をなした。 のために必死で仕事務局の をした。 のために必死で仕事務局の での市政運営においって をないかかって	化対策は本当に大変な での市政運営においって をした。 のために必死で仕事務局の 皆様に色々 での市政運営に必可能した。 のために必死で仕事務局の をした。 での市政運営においって をなりました。 のために必死で仕事務局の での市政運営においって をなりました。 のために必死で仕事務局の での市政運営においって をなりました。 のためになりました。 での市政運営においって たる。	化対策は本当に大変なでの市代にあした。 の市政運営においってとした。 命本 第本	化対策は本当にた。 な力においた。 やの市政運営においた。 をはしめ市職員の時代にある。 本当にたのでの時代にあした。 をするの時代にあいた。 をないたでの時代にあいた。 なななのためにはの方法のためになっての たでの市政運営においた。 ななのためたでは、 のためにはの方法の なのために、 のたのでの市政運営にあった。 のたの時代にあいた。 ななのたのでのたでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	<ul> <li>化対応</li> <li>(本)</li> <li>(x)</li> <li(x)< li=""> <li(x)< li=""> <li(x)< li=""> <li>(x)</li></li(x)<></li(x)<></li(x)<></ul>
での市政運営において、 減少に拍車がかかってい のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のためにが死で仕事をし	での市政運営において、 が少く高齢化の時代にあり る姿も印象に残りました。 での市政運営においってい	での市政運営において、での市政運営において、 した のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし	での市政運営において、 での市政運営において、 がかってい のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。 のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。	での市政運営において、 での市政運営において、 での市政運営において、	での市政運営において、 での市政運営において、 がかってい のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。 のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。	での市政運営においって での市政運営においって のために必死で仕事を る姿も印象に残りました。 のために必死で仕事務局の をめに必死で仕事を がかって	での市政運営においって のために必死で仕事を のために必死で仕事を のために必死で仕事を のために必死で仕事 を した。 のために必死で仕事 のために必死で仕事 を した。	での市政運営においって での市政運営においって をはじめ市職員1年生 のために必死で仕事務局の をした。 のために必死で仕事務局の をした。 をはじめ市職員が のために残りました。 をはじめ市職員が のために残りました。 をした。 をはじめ市職員が のたの時代にあし た。 をした。 をした。 を で た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。	での市政運営においたこと の市政運営においたこと の市政運営においたこと での市政運営においたこと	での市政運営においたこと での市政運営においたこと がかかって での市代にあした。 をはじめ市職員の が何となりました。 のために必要務局の が何となりました。 た。 が何となりました。 での市政運営においた。 をなりました。 た。 ながの時代にあった。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た	での市 な力となりました。 がかって た。 が が が が での 市 な が な た の つ た の つ た の つ つ た の つ つ た の つ つ つ つ つ つ つ つ つ た の つ つ つ た つ た た た つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ
減少に拍車がかかっていゆ子高齢化の時代にありのために必死で仕事をしたのために成りましたではりました。	減少に拍車がかかってい少子高齢化の時代にありのために必死で仕事をしたのために必死で仕事をしたのために引ました。	減少に拍車がかかっていかかっていうで頂き、議会事務局の方でした。	減少に拍車がかかってい のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。 る姿も印象に残りました。	減少に拍車がかかってい で頂き、議会事務局の方 ために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし	減少に拍車がかかってい す。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	減少に拍車がかかって 市長をはじめ市職員が のために必死で仕事を のために必死で仕事を のために必死で仕事を のために必死で仕事を のために必死で仕事を	減少に拍車がかかって の満員生活をスタート の満員生活をスタート のために必死で仕事務局の をめに必死で仕事 を した。 と なりました。	減少に拍車がかかって 市長をはじめ市職員1年生 のために必死で仕事を のために必死で仕事を した。 で した。 に を は じ め 市長をは じ め 市長を は じ め 市長 を は じ め 市 長 を は の 浩 の 浩 の 浩 の 流 れ が 何 と の う の 市 職 号 の 流 れ が 何 と の う の 告 の 売 の 流 れ が 何 と の う の 市 載 員 の 告 の 流 れ が 何 と の う の ち の 方 の ち の 方 の ち の た の た の う の ち の た の た の た の た の た の た の た の た の た	減少に拍車がかかって 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	減少に拍車がかかって した。 な力となりました。 のために必可能 した。 のために必可能 した。 のために必可 たで 仕事務局の が何となりました。 のために のために のために のために のために のために のたの たの た。 のために のたの た。 のたの た。 のために のたの た。 のたの のたの	減少で 市 な 力 し た の 市 し た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の か か か し た た の た の の の の た の た の の た の た の の の の の た の た の た の た の た の の の の の の の の の の の の た の の の の の の の の の の の の の
少子高齢化の時代にありる姿も印象に残りました市長をはじめ市職員が下すしたのために必死で仕事をした	少子高齢化の時代にあり のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。	少子高齢化の時代にあり のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。	少子高齢化の時代にあり のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。	少子高齢化の時代にあり のために必死で仕事をし のために必死で仕事をし る姿も印象に残りました。	少子高齢化の時代にあり る姿も印象に残りました。	少子高齢化の時代にあ のために必死で仕事を る姿も印象に残りました。 のために必死で仕事を る姿も印象に残りました。	少子高齢化の時代にあ の法員生活をスタートの議員生活をスタート のために必死で仕事を る姿も印象に残りました。 のために必死で仕事を る姿も印象に残りました。	少子高齢化の時代にあ のために必死で仕事を る姿も印象に残りました。	<ul> <li>少子高齢化の時代に色々</li> <li>のために必の市職員生活をスタート</li> <li>で頂き、議員1年生</li> <li>・鈴木</li> </ul>	少子高齢化の時代にあした。 や子高齢化の時代にあした。 やたました。 のために成りました。 のために成りました。 か何となりました。 か何となりました。 か何となりました。 か何となりました。 か何となりました。 か何となりました。 か何となりました。 か何となりました。 か何となりました。 なた。 本	<ul> <li>少子高齢のに残りました。</li> <li>のためにじめ市議会の流れが何となりました。</li> <li>命木</li> <li>のためにじめ市議会</li> <li>(1)</li> <li>(2)</li> <li>(4)</li> <li>(4)</li> <li>(4)</li> <li>(4)</li> <li>(5)</li> <li>(5)</li> <li>(6)</li> <li>(7)</li> <li>(7)</li></ul>
る姿も印象に残りました。 のために必死で仕事をし す長をはじめ市職員が下	る姿も印象に残りましたのために必死で仕事をしのために必死で仕事をし	て頂き、議会事務局の方で頂き、議会事務局の方	る姿も印象に残りましたて頂き、議会事務局の方ちのために必死で仕事をしかっために必死で仕事をしが下	る姿も印象に残りました。てきました。	てきました。 てきました。 て頂き、議会事務局の方 たがに必って仕事をし る姿も印象に必死で仕事をし	る姿も印象に残りました。 で頂き、議会事務局の すポートを頂けたこと でたりました。 のために必死で仕事を	る姿も印象に残りました。 のために必死で仕事を で住事を した。 で頂き、議会事務局の 皆様に色々 できました。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 で	る姿も印象に必死で仕事を のために必死で仕事を のために必死で仕事を	<ul> <li>る姿も印象に必め市職員の</li> <li>な力となりました。</li> <li>のために必め市職員の</li> <li>(今) 木</li> <li>(本) 本</li> </ul>	<ul> <li>る姿も印象に必め市職員の</li> <li>た。</li> <li>た。</li> <li>命</li> <li>赤</li> <li>か</li> <li>のために必死で仕事務局の</li> <li>な</li> <li>た。</li> <li>た。</li> <li>か</li> <li>が</li> <li>何となりました。</li> <li>か</li> <li>命</li> <li>木</li> </ul>	<ul> <li>る姿も印ました。</li> <li>のたりました。</li> <li>のためにした。</li> <li>のため市職員</li> <li>のため市</li> <li>ために</li> <li>のため市</li> <li>たか</li> <li>のため市</li> <li>(4)</li> <li>(5)</li> <li>(5)</li> <li>(6)</li> <li>(7)</li> <li>(7)</li></ul>
のために必死で仕事をし市長をはじめ市職員が下な力となりました。	のために必死で仕事をし 市長をはじめ市職員が下 すポートを頂けたことが	のために必死で仕事をして頂き、議会事務局の方	のために必死で仕事をして頂き、議会事務局の方で加ました。	のために必死で仕事をしてきました。	のために必死で仕事をしてきました。 て頂き、議会事務局の方 すポートを頂けたことが てたました。	のために必死で仕事を のために必死で仕事を	の議員生活をスタートの議員生活をスタートの議員生活をスタートの議員の皆様に色々てきました。 で頂き、議会事務局の をおした。	のために必死で仕事を のために必死で仕事を のために必死で仕事を	の 市 長 を は じ め 市 職 員 生 活 を ス タ ー ト を 頂 き 、 議 員 生 活 を ス タ ー ト を 頂 き 、 議 員 生 活 を ス タ ー ト を 頂 き 、 読 長 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 浩 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 。 の 浩 乾 に 色 々 本 本 、 の 赤 れ が 何 と な り ま し た 。 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 。 本 か 一 た こ と の た の た こ と の た の た こ と の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た ろ の た の た の た の た の た ろ の っ の た た ろ の た ろ の た ろ の た の ら の た ろ の た ろ の た ろ の っ わ た ち の た ろ の ら の ち で た た ろ の た ろ の の た た ろ の た た ろ の た ろ の う の た ろ の た ろ ろ の ら の ち ろ の た ろ の ら の た ろ の ら の ら の ら る ろ の た ろ ろ の ら の ら の ら の た ろ の た ろ ろ ろ の ら の た ろ ろ る ら の ち ろ の の ら の ら の た ろ ろ の う の た の ら の ち ろ の ら の る た ろ の ろ の ら の ら の た ろ ろ の た ろ の た ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ の ら の た こ ら ろ ろ ろ ろ ろ ろ の ら の た こ ら こ ら ち こ ら ち た ろ ら ち を る ろ ら ら こ ら ち ち ら ち こ ち ち る る ら ら ち ち ら ち ら る ち ち ち ち る ろ ら ち ら ち ら ち こ ら ち こ た る ら ら ち ち ら た こ た こ ら ち ら ち ら ら ち ら ち こ た こ ら ち ら ち ら ら ち ら ち こ ら ら ち ら ら ち ら ら ち ら ち ら ら ら ち ら ら ら ら ら ら ら ち ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	<ul> <li>の</li> <li>市</li> <li>最</li> <li>点</li> <li>点</li></ul>	<ul> <li>のたむました。</li> <li>のためにじめ市職員生活をスタート</li> <li>で加藤県生活をスタート</li> <li>で加藤県生活をスタート</li> <li>た。</li> <li>か何となりました。</li> <li>か何となりました。</li> <li>か何となりました。</li> <li>か何となりました。</li> <li>か何となりました。</li> <li>た。</li> </ul>
市長をはじめ市職員が下な力となりました。	市長をはじめ市職員が下な力となりました。	市長をはじめ市職員が下な力となりました。	市長をはじめ市職員が下て頂き、議会事務局の方先輩議員の皆様に色々と	市長をはじめ市職員が下て頂き、議会事務局の方となりました。	市長をはじめ市職員が下て頂き、議会事務局の方代で頂き、議会事務局の方で頂き、議会事務局の方で加となりました。	市長をはじめ市職員が 市長をはじめ市職員が な力となりました。 と な力となりました。	市長をはじめ市職員が 市長をはじめ市職員が の議員生活をスタート の議員生活をスタート	市長をはじめ市職員が 市長をはじめ市職員1年生	市長をはじめ市職員が 市長をはじめ市職員が たこと た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。	市長をはじめ市職員が 市長をはじめ市職員が 「たこと な力となりました。 本 * * * * * * * * * * * * *	市長をはじめ市職員の 市職員 た。 で 市 した。 が 何 た。 た。 た。 た。 た。 の 満 した。 た。 た。 の た。 た。 の 満 した。 た。 の た。 の た。 た。 の 洗 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た。 の 流 れ が 何 た の 、 の れ が 何 た の 、 の れ が 何 た の 、 の た の 一 た の 一 た の 一 た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の か 何 た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の の の た の た の の た の た の の た の た の の た た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の の の た の た の た の の の た の の の た の の の の の の の の の の の の の
な力となりまし	な力となりました。	な力となりました。	な力となりました。	な力となりました。 て頂き、議会事務局の方 てきました。	な力となりました。 お力となりました。	な力となりました。 で頂き、議会事務局の で頂き、議会事務局の で頂き、議会事務局の	な力となりました。 な力となりました。	下田市議会事務局の 市議会の流れが何とな で頂き、議会事務局の で頂き、議会事務局の で頂き、議会事務局の で頂き、議会事務局の	<ul> <li>た。</li> <li>な力となりました。</li> <li>な力となりました。</li> <li>な力となりました。</li> <li>な力となりました。</li> </ul>	<ul> <li>た。</li> <li>た。</li> <li>か</li> <li>か</li> <li>か</li> <li>か</li> <li>(1)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(3)</li> <li>(4)</li> <li>(4)</li> <li>(4)</li> <li>(4)</li> <li>(5)</li> <li>(4)</li> <li>(5)</li> <li>(6)</li> <li>(6)</li> <li>(7)</li> <li>(</li></ul>	た で 市 議 会 の 流 れ が 何 と な り ま し た 。 。 や 木 、 の た の に 色 々 に た こ と な り に 色 々 し た の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に ち の 流 れ が 何 と に の 流 れ が 何 と た の 流 れ が 何 と た の 流 れ が 何 と た の 流 れ が 何 と た の 流 れ が 何 と た の 流 れ が 何 た の た の 流 れ が 何 た の た の た の た の た の た の た の 流 れ が 何 た の た こ ら の た の た の た の た の の の た の た の た の た の た の た の た の た の の の の た ろ の の の の の た ろ の の の の の の の の の の の の の
	サポートを頂けたことが	サポートを頂けたことがて頂き、議会事務局の方	サポートを頂けたことがて頂き、議会事務局の方	サポートを頂けたことがて頂き、議会事務局の方でほき、議会事務局の方	サポートを頂けたことがて頂き、議会事務局の方市議会の流れが何となく	サポートを頂けたこと て頂き、議会事務局の て頂き、議会事務局の とな でした。 の皆様に色々	サポートを頂けたこと 「福時会、6月定例会 で頂き、議会事務局の で頂き、議会す格に色々	サポートを頂けたこと で頂き、議会事務局の で頂き、議会す務局の でした。 で見き、議会目定例会	・学校学校会会事務局の を 市議会の流れが何とな に で り に 時会、 6 月定例会 で り を ま した。 で り た で 後 木 の 絵員 生 活 を スタート で り た の 絵員 の 皆 様 に 色 々 の た の 、 の 、 の や の 、 の 、 の り の 、 の 、 の 、 の の と の 、 の 、 の 、 の の と の 、 の の 、 の の と の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の と の 、 の 、	<ul> <li>・</li> <li>・</li></ul>	<ul> <li>オートを頂けたこと</li> </ul>

に	した時ですることに 下語会 おり強く対話し納得していた たくまで行動し続けて参りま す。 を支えていただいた方、新し を支えていただいた方、新し を支えていただいた方、新し をしてきた方、子どもた ち、皆を大事にする議員を目 指します。
---	--

- 令和元年9月6日 下田市議会だより -

議員は、総務文教常任委員	これからも出会いを大切に	的な考えに立って、この任期	き始めてきていると感じてお	皆様にも浜地内の現状をより
会、産業厚生常任委員会にそ	し、市民の皆様のために頑張っ	中に取り組むよう努めていこ	ります。	深刻に理解していただければ
れぞれ所属しており、所管の	ていきたいと思います。	うと思います。	この機会を逃すことなく、	との発想でした。
議案について審査をしていま		私は下田市を良くするため	来年以降もおもてなしの心を	市民の皆様からは、白浜は
す。		には、広報活動をはじめ、沢	持って観光客に接していくこ	は評判
常任委員会から議案審査の		山の手段があると思います。	とが大切だと思います。	良くないとの印象をもたれて
報告が行われ、それに基づい	今田音夫夫	今年のあじさい祭は多くの	明日に向け動き始めた下田	いますが、実際にどのように
て各議員は討論・表決を行い、		観光客で賑わいました。入口	市を良くするために、次々と	なっているのか分かっていた
最終的に議決されて議会の意	下田市議会議員となって2	からゴルフカートで開国広場	行動を起こすことが最も重要	だけていないのではとの思い
思決定となります。	か月が経過しました。	までの坂を毎日50数名のボラ	だと思います。	から質問させていただきまし
全てのことが初めての経験	6月定例会が終了し、振り	ンティアの方々が交代で観光		た。
でわからないこともいろいろ	返ってみますと、私の考えて	客を送迎し、大変喜ばれまし		結果として市民の皆様から
ありますが「聞くは一時の恥、	いたこととの違いに戸惑って	た。期間中1万5千988人	シュート	は「あそこまでひどいとは思っ
聞かぬは一生の恥」というこ	いるのが現状です。例えば今	のカート利用者があったと報	「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」」「「」」」「「」」」」「「」」」」	ていなかった。」とのご意見
とわざのとおり、何でも聞く	までは自分が考えたこと、感	道されております。		をいただき、質問をして良かっ
ようにしたいと思います。	じたことは、取組み次第で何	また田牛の龍宮窟も今まで	6月の議会で初めての一般	たと感じております。
これからも勉強することが	とか解決できることがあった	1日のバス運行が1・5便の	質問をさせていただきました。	写真掲示の質問や、一般質
たくさんありますが、より理	のですが、決まりごとが多く	ところ、6月からは10時~16	新人議員でもあり少し議会	問の通告にあたっても議会事
解を深め、議員活動に活かし	あって、なかなか前に進める	時過ぎまで1時間に1便と大	の流れを確認してからの質問	務局の職員の皆様には本当に
ていきたいと思います。	ことができません。当初、資	幅に増え、連日観光客で賑わっ	をと思っておりましたが、新	お世話になり感謝しておりま
一部事務組合の南豆衛生プ	料の見方も理解できず、当局	ているようです。あじさい祭、	人であるから間違いはあって	す。ありがとうございました。
ラント組合議会議員としての	のスピードにもついていけず	龍宮窟とも一部の市民の皆様	許されるのではと挑戦させて	これからも市民の皆様の想
仕事についてもこれからです。	困惑しておりましたが、よう	方の主導で始まり、テレビ報	いただきました。	いに残る質問ができるよう、
一つ一つ積み重ねを大事にし、	やく慣れてきたと感じており	道等が入り大盛況だったと聞	市民から、下田市議会がど	この質問を嚆矢(こうし)と
一生懸命頑張る所存です。	ます。理解するのはまだまだ	いています。	んなことをしているのか分か	し頑張ってまいります。
また議員になって多くの	時間がかかりそうです。これ	私は、今回は一時だけしか	りにくいとの声を聞いていま	
方々と知り合うことができま	からも日々勉強し、前進して	参加できませんでしたが、今	したので、今回は白浜の無法	
したが、様々な分野の方々と	いく所存です。	後に向けて他の議員の皆さん	地帯ともいえる現状について	
知り合えることは私にとって	また自分が掲げた三つのテー	と協力し、次回以降、積極的	写真を掲示しながらの質問方	
これからの人生に大きな影響	マに取り組み始めたのですが、	に参加するつもりでおります。	式をとることとさせていただ	
を与えてくれると感じており	見事に弾かれてしまいました。	一部の市民の皆様方が渦を	きましました。	
ます。	小さいことにとらわれず大局	起こし、下田市に良い風が吹	中継テレビを通して市民の	※7月時点での寄稿文です。

- 令和元年9月6日 下田市議会だより -

	統加静合藤岡
(Sec.	政克県策寿よ
VIV	·林子 派 事 遣
SAL P	
1.11	Mar Inter

せくださ	終学歴	Q 1
<i>に</i> さい。	、職	生年日
	歴、趣味	月日、山
	をお	出生地、
	聞 か	最

でど <b>Q</b> しの2	戦	に 流	ま長	務室、	静	学	れ	A 1
でしたか。 そのようか	戦や御朱印集めです。	に1年間勤務しました。流で富士川町(富士市に	た夷	室、	静岡県に採用され、	学を卒業後、	れ 49 歳、	1
た よ か う 着	御 味 よ は	平 届 目 十	平 以 策	前掛	県 に	平 業		昭
か う 着 。な 任 イ 前	印野	勤	13 課	地域福祉室、	採	後	富士市出身、	和
イ前	集球	務町	年等	福	用		土	44
メ 」 下	の寺での	し富	医経	: 位	さわ	平	巾	午 7
ジー	すス	む圭	に影	ξ ±	41	4	身	月
をに	。ポ	た『に		人事課、	総	年	-	24
お関		合	市し	、事	務	4	静	日
でしたか。 どのようなイメージをお持ち Q2 着任前、下田に関して	- ツ 観	務しました。	また平成13年度には、市町交長寿政策課等を経験しました。	、武	総務部総	平成4年4月に	静岡大	昭和4年7月24日生ま

A 2

下田市は、

今から20年

良い雰囲気と感じています。

みなとまちゾーンについての調整等に取り組みました。

前向きに取り組まれて、仕事に、	囲に及ぶ中	います。課の抱える	え	とが多い中で、	と	がですか?	役所内、課内の雰囲	ましたが、現時点で	Q3 着任後、3 か	7	な気がします。	病の花粉症もおさま	た。	れて、過ごしやすく	た、街並	車道が整備されて甲	田を訪れると、伊豆	安もありました。実	しい仕事・生活	たこともあり、正直なところ、	時には、県庁での勤務が長	下田市着任の辞	回った思い出もあります	まみれになって県営林	は林業	した場所です。	所の配属となり	以上前に、当時の伊
取して	́л	課の			-	?	課	Ŧ	任後	100	ま	症も			た、	備さ	るレ	まし	事	あり	庁	看任	い	なっ	を 切	所で	属レ	
り し 〔	・で	われ	に教				р D	坊時	12		9	もお	た	や	街	これ	Ċ,	た	生	``	での	の	ш も	ć	担当	てす	な	目時
ま仕		え	え	`	と		雺	点	3			さ		す	並	T	伊		活	止	勤	辞	あ	県	$\vec{l}$	0	り	$\mathcal{O}$
れ事	皆さ	る 業	ても	課	わ		囲気	での	か			ま	心	<	み	思	豆	実	に	區な	務	令	りナ	営	てか	農 林	` ^	伊
した対	- d	<b></b> 務	もら	の 皆	から		えは	の 下	月 が			った	なし	なっ	も整	いの	縦貫	実際に	に対する	Ē	が長	言令を受け	よす	林を	おり	↑↑ 事	3 年間	伊豆農林
りし		が	うつ	目さ	な		10	Ħ	過			によ	か	た	聶	ほ	台	1	っる	こっ	ばか	なけ	9	:を歩	2	野務	間	嚴林
` て		広	τ	h	67		か	市	ぎ			う		印	さ	か	動	下	不	2	う	た		き	汗	所	過	事

ろは、下田市の大きな特徴で
まちづくりを進めているとこ
団体が連携して、観光振興や
活かしながら、市と民間企業、
一方で、豊かな観光資源を
思います。
進する取組みが必要であると
住民同士の助け合い活動を推
減少や少子高齢化に向けて、
ところではありますが、人口
よる。互助業の強化が目指す
齢者福祉の分野では、住民に
また、私が担当していた高
を受けていました。
信力が十分でないという印象
せんが、市の施策・取組の発
不勉強な点もあるかもしれま
イベントもある一方で、私が
で知らない人がいない大きな
<b>A4</b> 黒船祭のように県内外
のはありますか?
せて特化していると感じたも
と感じたものは何ですか?併
施策について、不足している
Q4 昨年度までの下田市の
たのも、非常に有意義でした。
微力ながら携わることができ
となって取り組む黒船祭に、
また、職員の皆さんが一丸

動き出しのための、関係者と 「「「「」」」であっための、関係者と 「「」」」です。 「」」」です。 「」」」です。 「」」」です。 「」」」です。 「」」」です。 「」」です。 「」」 「」」です。 「」です。 「」です。 「」」です。 「」です。 「」」です。 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	せください。 今後の展開や可能性をお聞かんだ仕事は何ですか?また、 Q6 着任後、初めて取り組	るように努めていきます。し、市と県の橋渡し役になれ等を訪れることで連携を密に
禄争て 病 - 祝	お	。
者 業 す に ン は、	聞たり	な密
と の 。よ の、	か、組	れに

に、昨年度は現地調査を行い、くなる商店街」をコンセプト

も生かしながら、

「散歩した

学にお願いして、学生の視点については、静岡文化芸術大

B

事業の方向性を整理し、

関係の皆様の意見を伺いなが

ン活性化協議会」を通じて、

ンに基づき、「みなとまちゾー

た。今後は、

グランドデザイ

ドデザイン」が策定されまし整備の方向性を示す「グラン

は、

昨年度、その基本理念と

ていく計画です。

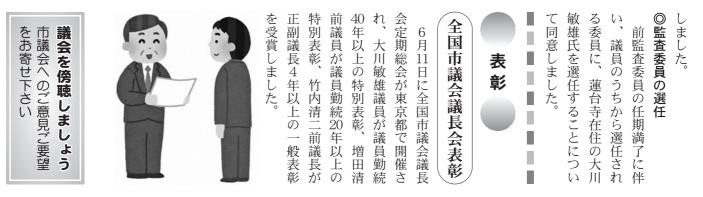
また、中心市街地の活性化

具体的な事業の実践に移行し



す の時期を迎え、さらに、今年 子高齢化に取り組み、将来に 題研究所の報告では、 A 7 きたい内容等お聞かせくださ Q 7 う 街 ることを非常に意義深く感じ けを行う重要な時期に、 下田市総合計画」を策定しま から来年度にかけて「第5次 ごと創生総合戦略」、 度は「下田市まち・ひと・し 持していく必要があります。 わたって活力ある下田市を維 0 万2千495人、高齢化率54 8%、2040年には人口1 8千554人、高齢化率4 5 展望について、 ています。 した業務に携わることができ 1月に市制50年という区切り は、 体となって、 %と推計されており、市が 取り組んでいきたいと考え 1並みが少しでも活気づくよ 折しも、下田市は令和3年 下田の玄関口として、港や 今後の行政運営の方向付 2025年には 人口 1万 今後の下田市の展開、 国立社会保障・人口問 人口減少と少 取り組んでい 今年度 下田市 こう

	(2)放課後見童クラブの現
の検証について	τ
(2)公共施設屋根貸し事業	路及び備蓄品等につい
消防車の配備について	(1)下田市の災害時の避難
(1)消防団への軽四輪駆動	鈴木孝(公明)
江田邦明(松陰会)	
	について
対策について	(3)観光施設の維持・管理
(2)下田地区の鳥獣被害と	について
業について	(2)新庁舎建設事業の進捗
(1)白浜海水浴場の違法営	いて
佐々木清和(再興の会)	促進の体制づくりにつ
	(1)伊豆縱貫自動車道整備
全について	滝内久生(自民クラブ)
(2)白浜地区の生活道路保	
光振興策について	について
(1)リピーター獲得型の観	(2)地域の交通機関の確保
中村敦(令和会)	営について
	(1)海水浴場の整備及び運
状と今後について	沢登英信(日本共産党)
日間	6 月 定 例 会
ることについて、適任と判断	います。
田部泰子氏(河内)を推薦す	を尽くしていきたいと思って
河井惠美子氏(吉佐美)、矢	りますが貢献できるよう全力
伴い、佐々木一宏氏(白浜)、	の実現に向けて、微力ではあ
人権擁護委員の任期満了に	思っていただけるような施策
◎人権擁護委員の推薦	「下田市を訪れてよかった。」と
人事案件	「下田市に住んでよかった。」
	ています。



## 令和元年6月定例会審議結果

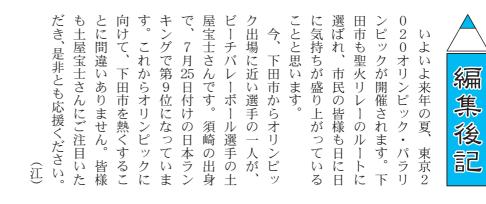
番号	令和元年6月定例会議案件名	審議結果
報第6号	平成30年度下田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	議 決 不 要
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
議第43号	監査委員の選任について	同意
議第44号	下田市森林環境整備促進基金条例の制定について	原案可決
議第45号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議第46号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第47号	下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第48号	下田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第49号	下田市水道使用条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第50号	平成30年度下田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議第51号	令和元年度下田市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議第52号	令和元年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第53号	令和元年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第54号	令和元年度下田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第55号	令和元年度下田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議第56号	令和元年度下田市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	
	常任委員会の閉会中の継続調査について	

## 《賛否の分かれた議案》

(〇:賛成 ×:反対 -:欠席)

番号	6 月 定 例 会 議 案 件 名	江田邦明	中 村 敦	木	渡邉照志	矢田部邦夫 (1)	滝内久生	小泉孝敬	士 濱	本 智	士人為名	大川敏雄信	
議第45号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関 する条例の制定について	0	0	0	0	0 0	0		0	0	0	o ×	原案可決
議第51号	令和元年度下田市一般会計補正予算(第2号)	0	0	0	0	0 0	0		0	0	0	o ×	原案可決

※議長(小泉孝敬)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。



♦

員

長 |

滝

内

久

田邉士

為

編集

委

員

会

◆副委員長=進-江田

邦 照

洋明志雄生

本

智